

郡市医師会めぐり 第 9 回

大島郡医師会



大島郡医師会は、診療所が 7 機関、私立の病院が 1 機関、町立病院が 3 機関で会員数は 37 名と小規模の医師会です。

郡名の由来である「大島」ですが、国土地理院が定める「屋代島」が正式な名称で、本州沖約 2km の瀬戸内海上にあり、面積 128 km²、周囲 160km で、瀬戸内海では淡路島、小豆島につぐ 3 番目に大きい島です。本州との交通も、以前は小松港、開作港の 2 か所から出ている連絡船で本州との間を行き来していましたが、今では、1976 年 7 月 4 日に開通した大島大橋により便利になっていますが、日本でもっとも高齢化率の高い島と言われています。平成 23 年 9 月末現在の人口構成では 65 歳以上の人口は、9,164 人で全人口に対する割合は約 47%となっています。2040 年には人口は約 8,000 人まで減少すると予

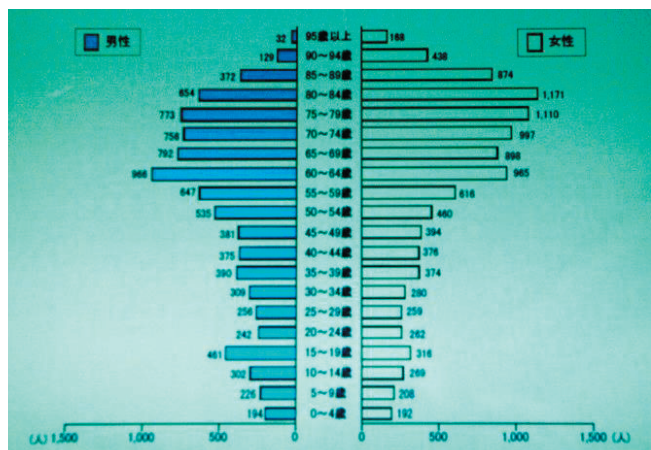


大島大橋

想され、高齢化率はさらに高まると考えられます。

今後急速な高齢化率の高まりと、それに伴う高齢者夫妻世帯、高齢者単身世帯の増加が予想される大島にとって、福祉需要や住民の多様なニーズに対応するために、行政の力だけで福祉課題を解決するには困難であると考えられます。また、今後団塊の世代が後期高齢者になることを視野に入れ、支援を必要とする住民の生活を地域で支えるために、日常生活の場において、医療・介護・予防・住まい・生活支援の各サービスが切れ目なく、有機的かつ一体的に提供される『地域包括ケアシステム』を構築していくことがさらに重要となってきます。

大島郡医師会では、初期救急医療体制として在宅当番医制を行い、郡内各開業医と大島町 3 病院と協力し合いながら休日の診療にあたっていますが専門的に入院加療が必要と判断した時には（特に小児の場合）周東総合病院や、岩国医療センターにお願いすることがあります。また、これ



人口ピラミッド

資料 住民基本台帳及び外国人人口（平成 23 年 9 月末現在）

からもお願いすることがあると思いますが、その際には宜しくお願い致します。そして、小児科医のいない大島郡では、年一回小児科医の先生に、母親を対象に家庭でもできる対症法、医療機関受診の判断等について講演をしていただき、いざという時に慌てず安心して暮らせるように講習会を行っています。

医師会の活動の一つとして、大島医学会があります。この学会は、現医師会長である嶋元 徹先生のお父様である嶋元 貢先生が、保健医療福祉の連帯を図るために昭和 62 年に第一回を開催されました。その後、毎年 5 月に、山口県医師会長・各都市の医師会長・歯科・薬剤師会会長・警察・消防・行政と多くの来賓の出席をいただき開催されています。そして、挨拶の時に、『この学会は世界で一番小さな学会である』とよく言われていました。しかし、その世界一小さな学会ではありますが、医師の発表だけでなく、福祉・介護などのコ・メディカルからの発表、看護学校の卒業生の発表があり、中身の濃い充実した医学会となっています。後半の部では、一般市民を対象にして公開講座が開かれています。演者には医師・歯科医師などの医療関係者を始め、幅広い分野からいろいろな職種の方が来られて、医療従事者にとっては日々の診療に、住民にとっては日常生活で実践できるような話を分かりやすく講演してくださっています。昨年の公開講座は、ラジオ放送でも活躍され、自転車で訪問診療をされている東京都新宿区で地域ケアを実践されている、ふれあい歯科ごとう代表の五島朋幸先生による「食

にできること〜」でした。介護の現場で簡単にでき、すぐに実践できるような訓練法をユーモアを交えわかりやすく説明していただき有意義な講演となりました。この大島医学会も回を重ね、今年は 5 月 26 日に第 26 回目が開催されます。今年の公開講座には「グループホームふぁみりえ」のホーム長である大谷みこ先生をお迎えして講演をしていただくことになっています。

大谷先生の講演では、今後ますます高齢化が進み、医療施設だけでなく、介護施設、また、在宅での介護も増えてくると思われますが、今後の介護について参考になる話が聞けるのではないかと、今から楽しみにしています。

大島郡には、平成 8 年に閉校した沖浦東小学校を改修利用し、学生寮を新築した大島看護学校が、平成 10 年 4 月に開校しています。一学年の定員は 35 名で山口県内からの入学者が大部分を占めていますが、広島、島根、鳥取、九州、遠くは大阪からの入学者もいます。多くの生徒が部屋から海を眺めることのできる素晴らしい環境にある寮で生活をしながら、静かな自然のなかにある校舎で（周囲にはコンビニもなく生活に不自由さを感じられている学生もいるかもしれませんが）、在校生はのびのびと未来の看護師を目指して勉学に励んでいます。平成 24 年までに 389 名が卒業され、381 名が就職、8 名が進学されています。就職者 381 名は山口県を始め、広島・島根・岡山・福岡・大阪・東京と全国各地の医療現場の第一線で活躍されています。県内就職者 263 名のうち 76 名が周防大島町公営企業局に就職されています。ますます高齢化が進むと考えられている大島郡にとっては、貴重な戦力であり今後の活躍が期待されています。また、これからも卒業生の多くが郡内の病院に就職してくれることを願っています。

今後 大島郡医師会では福祉・介護等多種の方々の分野の方々・地域住民と協力し合いながら、住民が安心して生活でき、最期まで住み慣れた大島で過ごせるよう、『元気 にこにこ 安心な島づくり』を合言葉に頑張っていきたいと思っています。

〔大島郡医師会広報担当理事 野村寿和〕



平成 24 年度市民公開講座・五島朋幸先生の講演